

< 館長報告 >

館長 土井 承夫 (どいよしお)

輝かしい新春を迎えました。謹んでお慶び申し上げます。
今年はいよいよ新公民館建設の年であります。2 日の定期総会で私は館長として再任されました。あと 1 期 2 年間、精一杯頑張ります。既に「福庭丸」は順調な航海へと船出しました。その総会議案書の中にある公民館新築の今後のスケジュールをあらためて確認します。

公民館新築計画の今後の予定について

① 2019 年 9 月中旬に倉吉市役所 「コミュニティー助成事業補助金」

に助成金申請書を正式に提出した。

と「自治公民館施設整備資金補助」
の限度額合計 1,590 万円支給を
願います。(2018 年/8 月時点で
市役所のご確認を頂いている。)



② 2020 年 1 月中に第 6 回建設推進委員会の招集 (1/18 予定)

- 解体及び新築に係る業者を選定する。
- 上記委員会にて入札方法を確認する



③ 2020 年 3 月までに市からの なるべく早く結果を得られる様に

満額助成金支給が正式決定する。 市側に働きかける
直後に札入れ方式により業者を選定する。



④ 2020 年 5 月上旬・新公民館建設着工 及び 旧公民館解体作業開始



⑤ 2020 年 (東京オリンピックイヤー) 11 月 30 日までに

新・福庭自治公民館が現在の場所に完成する。

(* 補助金の完了報告及び不動産登記の完了)

＜福庭自治公民館新築特別寄附金（自主的な寄附）の集計状況＞

住民の皆様からの上記の自主的な寄附金の集計状況をこの後もこの館長報告でお伝えしていきます。ご寄附は新公民館が完成する本年 2020 年 11 月 30 日まで受け付けます。受け付け窓口は館長の私、土井承夫です。（26-0770、携帯 080-4261-1979）お電話を下されば、ご持参いただかなくとも私が戴きに参ります。

*令和 元年(2019 年) 12 月 31 日 (火) 現在の集計結果(総計)は次の通りです。

(1) 寄付頂いた世帯数： 138 世帯 (全体の約 50.4 %)

(2) 寄附金の合計： 421 万円

(3) 個々の寄付金額の概要：最高額：30 万円 (1 名)、
25 万円 (2 名：1 名は福庭、もう 1 名は福庭以外の方です) 10 万円 (13 名)
5 万円 (10 名)、3 万円 (19 名)、2 万円 (12 名)、1 万円 (79 名) 他

以上

＜令和 2 年度新役員（部長以上）は次のように決まりました。（敬称略）＞

役職	氏名	班	電話	備考
館長	土井承夫	12	26-0770	再任
副館長	土井博文	15	26-5252	再任
会計担当部長	梅田茂信	19	26-6751	新任
総務部長	伊藤文男	14	26-3115	再任
社会教養部長	上野賢一	1	26-2253	新任
体育部長	土井承夫	12	26-0770	兼務
産業土木部長	石原輝男	4	26-1275	再任
厚生部長	福田直廉	10	26-2326	再任
交通安全部長	竹部 晃	8	26-9500	新任
女性部長	丸山孝枝	7	26-3161	再任
福祉部長	土井承夫	12	26-0770	兼務
施設担当	中野 務	17	26-2115	再任

(部長人事の考え方)・・・あくまでも適材適所で考えました。多くの方々に打診し誠意をもって折衝した結果が上記の一覧表です。男女の差なく考えた結論です。私が体育と福祉も兼務する事に疑問を持たれる方もあるでしょうが、2 年前に総務部長を兼務した時と較べれば遥かに仕事の工数は少ないです。また、個人的に体育は好きなので 16 班の横山尚登先生（早大競走部出身・現在同部卒業生幹事・同級生に瀬古利彦東京オリンピック委員）にご指導頂きながら進めて参ります。

＜今年度の役員のみなさまへ＞

今回新たに班長を含む役員 30 名の方々には昨年と同じ次の 3 つの大きな方針で私と一緒にベクトルを合わせて頑張りましょう。

- * まず「謙虚」である事。
- * 相手（住民の皆様）のお気持ちを少しでも察せられる事。
- * 公民館の仕事に対して労を厭（いと）わない事。

～ 館長のちょっと一服コーナー ～

2 日の福庭自治公民館 定期総会の館長挨拶で申し上げた倉吉シテイホテル代表取締役 藤井武親氏の年頭挨拶文に関してあらためてご報告します。

これは元旦の日本海新聞に掲載された「トップの決意」40 名の中で私が最も感銘を受けた文章です。内科医でもある藤井武親先生はこの様に述べられています。

「人体には 37 兆個の細胞が、其々の役割を持ち、互いに連携し、良きチームで働いています。脳や心臓、肝臓や腎機能更には筋肉や脂肪組織、腸内細菌まで

もが対話し、一個の生命体として機能します。これが 100 年間も維持される驚くべき仕組みには、感動を禁じ得ません。それこそワンチームです……
……(中略)……医療の進歩で寿命延伸したのは良いですが

認知症やフレイル（要介護になる前の状態）は医療だけではどうしようもありません。**健康長寿が目的ではなく、大切なのは自助努力です。休養したい病院にかかっていたりするのでも重要ですが、役割を進んで持ち続け、体力を維持し、考えることを止めない…その事が結果として長生きにつながるのが一番いいのではないのでしょうか。つまり、活力ある生活が先にあって、そのあと健康長寿がついてくるという事です。」**～ボランティア活動である公民館の仕事もこういう風に考えれば進んで楽しく行えるのかも知れません。実はこの記事が掲載された数日後、藤井武親先生と直接お会いしお話しさせて頂く機会がありました。開業医兼会社経営者の藤井先生と企業サラリーマンの私とでは「自営対組織」の違いは少し感じましたが、藤井先生の異なる意見も受け入れるその寛容さと

優しさに理屈ではない安心感を頂いたひと時でした。

以上

— 3 —

<付録・お知らせ>

来る 2 月 2 日（日）13:30～15:30 に下のチラシにあるように倉吉福祉センター大会議室において昨年の「あったかハート♥おたがいさま事業」においてその活動に対する報奨金を受賞した市内 5 自治公民館（生田、大谷、国分寺、秋喜新町、福庭）の内、**国分寺、秋喜新町、福庭の 3 自治公民館が PowerPoint の資料によるプレゼンテーションを行う事になりました。**

本件は昨年 6 月の館長会で福祉センターから朝倉主事を招いて説明を受けたものであり、上井地区からは福庭が初の発表となります。私が発表を担当します。15 時くらいから 15 分程度です。「これぞパワーポイントのプレゼンだ！！」というのをお見せしたいと思っています。皆さま、お時間があれば、だまされたと思って聴きに來てください。（この発表会の社会福祉協議会担当者は地域福祉課の入澤 裕美 主事です）

令和2年度小地域福祉活動研修会

実践から学ぼう！ 地域づくりのヒント

若い人たちと一緒に地域を盛り上げるには、どうしたらいい？

地域で災害時のことを考えたいけど、何から始めたらいい？

参加費 無料

～みんなが元気で暮らせるまちについて考えてみよう～

日時	内容
令和2年2月2日（日） 13:30～15:30	1. 実践発表 国分寺自治公民館 秋喜新町自治公民館 福庭自治公民館
場所 倉吉福祉センター 大会議室	2. ワークショップ 地域づくりのヒントを見つけよう！ ～わたしたちのまちのいいところ、 気になるところをみんなで語り合おう～
参加対象者 地域づくりに関心のある方	

お申込み・お問い合わせ先
倉吉市社会福祉協議会 地域福祉課
〒682-0872
倉吉市福吉町1400(倉吉福祉センター内)
Tel: 23-5600 Fax: 22-5249
E-mail: info@kurayoshishakyo.com

以上

— 4 完 —